

アクリルエマルション系  
微弾性下地調整塗材

DIA

# ダイヤ アクレスフィラー

JIS A 6909 可とう形改修塗材E

F☆☆☆☆

各種の改裝下地調整に最適。  
工事の流れをスムースにし、工期を短縮します。  
特殊アクリル樹脂採用の一液可とう形改修用仕上塗材です。

## ● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗り替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

## ● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果(充てん性)に優れ、付着性を向上させます。

## ● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックを生じません。

## ● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程・工期の短縮ができます。

# ダイヤアクレスフィラー

## 特 長

### ● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗り替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

### ● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックを生じません。

### ● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果(充てん性)に優れ、付着性を向上させます。

### ● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程工期の短縮ができます。

## 性能試験データ

試験項目	品名	アクレスフィラー	S社 エマルジョン系フィラー	試験方法
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	1.6	0.9	JIS A 6909
	浸水後	1.0	0.5	
温冷繰り返し試験		異常なし	異常なし	JIS A 6909
伸び率 (%)	20 °C	57.5	43.0	JIS A 6909
	-10 °C	3.2	11.7	
既存塗膜との付着性 吹付けタイル面	アクリルリシン面	○	△	JIS A 6909
	スタッコ面	○	△	
	アクリルエマルジョン系上塗り	○	○	
	アクリル溶剤系上塗り	○	○	
	弾性アクリル溶剤系上塗り	○	○	
	ウレタン溶剤系上塗り	○	—	
	弾性ウレタン溶剤系上塗り	○	—	
	ナチュラルウレタン	○	—	
仕上塗材の適合性	パーマルウレタン	○	—	JIS A 6909
	パーマルシリコン	○	—	
	パーマルW	○	—	
	ニュードボール	○	—	
	ハイパーウレタン	○	—	
	ハイバーシリコン	○	—	
	ナチュラルウレタン	○	—	
	パーマルシリコン	○	—	

○……可能 △……条件付きで可能

## 梱包単位

ダイヤアクレスフィラー ..... 16 kg/18 ドル缶

## 適用下地

●塗り替え：弾性塗材、リシン、スタッコ  
吹付けタイル面など

●新築：ALCなど

## 標準施工仕様

### ① ビフレッシュウォール (U・Si・W) 工法

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗回数		間隔時間
				工程内	工程間	
素地調整	各改工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください					
下地処理	ダイヤアクレスフィラー 中毛ローラー	16 kg 1.0~1.3 リップ	0.3~0.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上
	清 水 多孔質ローラー 吹付	0.5~0.8 リップ 1.3~2.0 リップ	0.8~1.0 kg/m <sup>2</sup> 0.6~1.0 kg/m <sup>2</sup>	1	—	16時間以上
上塗り (U)	ダイヤバーマルウレタン	16 kg 0.5~2.0 リップ	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup> 45~64 m <sup>2</sup> /缶	2	2時間以上	—
上塗り (Si)	ダイヤバーマルシリコン	16 kg 0.8~1.6 リップ	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup> 45~64 m <sup>2</sup> /缶	2	2時間以上	—
上塗り (W)	ダイヤバーマルW	16 kg 0.8~1.6 リップ	0.25~0.35 kg/m <sup>2</sup> 45~64 m <sup>2</sup> /缶	2	2時間以上	—

※ほかの上塗材についてはお問い合わせください。

### ② ビフレッシュウォール (AR・SiR) 工法

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗回数		間隔時間	施工用具
				工程内	工程間		
素地調整	各改工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください						
下地処理	ダイヤアクレスフィラー 中毛ローラー	16 kg 1.0~1.3 リップ	0.3~0.5 kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
	清 水 多孔質ローラー 吹付	0.5~0.8 リップ 1.3~2.0 リップ	0.8~1.0 kg/m <sup>2</sup> 0.6~1.0 kg/m <sup>2</sup>	1	—	16時間以上	
AR工法 (中塗り)	ダイヤニュードボールR	16 kg 0~0.5 リップ	0.6~0.7 kg/m <sup>2</sup> 22~26 m <sup>2</sup> /缶	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
AR工法 (上塗り)	ダイヤニュードボールR	16 kg 1.0~1.4 リップ	0.2~0.3 kg/m <sup>2</sup> 53~80 m <sup>2</sup> /缶	1	—	—	中毛ローラー
SiR工法 (中塗り)	ダイヤハイバーシリコンR	16 kg 0~0.5 リップ	0.8~1.0 kg/m <sup>2</sup> 16~20 m <sup>2</sup> /缶	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
SiR工法 (上塗り)	ダイヤハイバーシリコンR	16 kg 1.0~1.4 リップ	0.2~0.3 kg/m <sup>2</sup> 53~80 m <sup>2</sup> /缶	1	—	—	中毛ローラー

※ほかの弾性塗材についてはお問い合わせください。

## 施工器具

●中毛ローラー、多孔質ローラー、ジュラクガン、エアレス

### ■施工・管理上の注意

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥しますと取りませんので塗布面周辺の養生を完全に乾燥して下さい。施工後は速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除くと斑が残ります。
- コントローラーは必要十分な能力以上のもので使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、剥離等の生じる原因となります。
- 施工にあたっては、同一方法で、入り混じ、出隣等見切の良いところまで仕上げて下さい。同一箇面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で変化が発生し、壁面に残る場合があります。
- 本施工に入る前、試験塗りを行って施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- 着色する場合、試験量を試して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。
- 溶剤は気温6~35°Cで、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- リーフィング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- 既存下地の差に応じ、塗布量が変わることがあります。
- 施工に際し、安全施工上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。
- 既存工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート-SDSをご確認下さい。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存膜がセメント下地の場合には、高圧洗浄後に「ダイヤガンコシーラー」または「ダイヤワイドシーラー」を塗布して下さい。
- PC板、GRC板等への施工は避けて下さい。必要上塗する場合は営業所にご相談下さい。
- 1工程間隔時間は充分取って下さい。

\*ダイヤアクレスフィラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクレスフィラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/m<sup>2</sup>以上)を推奨します。



株式会社 タイフレックス

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。